

平成21年度 府立乙訓高等学校学校経営計画実施状況

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点目標
<p><b>知・徳・体の調和のある人間の育成に努め「文武両道」をめざす。</b></p> <p>本府「指導の重点」を踏まえ、学習指導要領に即して創意・工夫した教育課程を編成し、日々の教育活動の充実に努め、進路希望の実現と、心豊かにたくましく生きる人間の育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長が提示した、「地域に根ざした学校づくり」を基本とする、新しい経営方針に従い「学校改革」「新学科設置」に向けた取組を推進する。</li> <li>高大連携事業と基礎学力充実（国語・数学・英語）の取組み、きめ細やかな指導や授業改善に努め、学力向上と進路実現を推進する。</li> </ul>	<p><b>学校改革の実施</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>スポーツ健康科学科（仮称）の新設に向けた取組を推進する。</li> <li>学力向上に向けたプロジェクト会議を構成する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>基礎学力向上に向け、SHRの有効活用等により学習習慣の定着を図る取組を行う。</li> <li>進路充実に向け、高大連携・高大接続を視野に入れた土曜活用事業等の推進を行う。</li> </ol> </li> <li>地域の信頼を高めるため生徒指導の充実に努める。             <ol style="list-style-type: none"> <li>家庭と緊密な連携をとり基本的な生活習慣を確立する。</li> <li>進路充実に係る生徒指導の徹底を行う。</li> <li>生徒会活動、部活動の充実に努め、学校の活性化を推進する。</li> </ol> </li> <li>開放型地域スポーツクラブ等を中核とした「地域の学校づくり」を推進する。</li> <li>自他の生命と人権を大切にす意識や態度を培い、人権教育を推進する。</li> </ol>

評価領域	重点目標	具体的方策	分掌	評価	成果と課題
1 組織運営	組織的な校務運営の推進  生徒募集対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>職員打合せ会を効率よく運営し、校務運営の円滑化を図る。</li> <li>校内ネットワークを有効利用し、情報の共有化および校リアライズを行う。</li> <li>編さんされた諸団体の円滑に運営する。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>新学科開設に向け学校説明会を6回以上開催し、意欲ある生徒の入学を促す。</li> <li>第Ⅱ類文系の理系を、昨年以上の広報活動を展開し、40名を越え希望者を集める。</li> <li>学校説明会を8回以上行い、中学生・保護者・地域に本校の特色や魅力を伝え、志願者の増加につなげる。</li> <li>中学校訪問を旺盛に行う。</li> </ol>	教務  総務企画	C  B  A	<p>校内ネットワークを活用して職員間の打合わせ内容等の情報の共有化を図ろうと試みたが、職員間で有効に活用するまでには至らなかった。</p> <p>スポーツ健康科学科（6回）・普通科関係（8回）の説明会を旺盛に開催し、1,600名を越える生徒・保護者・教職員の参加を得ることに出来た。Ⅱ類文理系には定員を大幅に越え、受験者があつた。頻りに中学校や塾訪問を行い連携を深めた。</p>
2 学習指導	基礎学力対策、進路実現  専門教育を通じた進路実現	<ol style="list-style-type: none"> <li>「おとくにベシッ」の「おとくにアカデミア」の時間を活用し、基礎学力の定着を図る。</li> <li>学習室（自習室）を毎日開設し、課題を持つ生徒に自習の習慣を身につけさせる。</li> <li>大学進学モチベーションを高めるための制度を運用し、大学進学に對するモチベーションアップを図る。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>授業と家庭学習を充実させ、高校生としての学習スタイルを確立させる。各学年の課題に応じた進路補習を実施する。</li> <li>推薦入試、小論文指導の充実に努める。</li> <li>高大連携事業を積極的に推進する。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>補習体制の確立と資格取得指導の充実</li> <li>進路選択の実現とリンクする専門教育の推進</li> </ol>	教務  進路  商業	C  A  B	<p>「おとくにベシッ」は2年目の取組を定着させた。基礎学力を毎日実定着させるため、学習室は毎日の自習室は開設する。自習室は毎日の自習室は開設する。自習室は毎日の自習室は開設する。</p> <p>①平常、長期休業補習開講は例年並み。目標、学力の多様な下へ、大企業への就職試験に備えて、就職指導も強化する必要がある。②小論文模試、外部講師の活用を進めた。③土曜講座、セミナーなどパイロット校として、本年度末まで生徒の資格取得へのモチベーションを維持でき、資格や専門性を活かした進路希望をほぼ実現できた。本年度も、三種目1級1名、教育長表彰8名を輩出できた。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	分掌	評価	成果と課題
3 進路指導	進路目標の明確化	① 進路説明会などを通じて、早期からの進路意識の向上を図る。 ② 年2回の進路希望調査を実施し、生徒の実態をリアルタイムに把握する。 ③ 勤労観を育成する機会を提供し、キャリア教育を推進する。	進路	A	A ① 2年の進路遠征にインフルエは当初の調査、クアンティンもダメな体①がといる。②の単みう取12月行た習
	学方向上への取組	① 全員模試及び府高実力テストを教科指導に活用する。その他の模試や資格試験についても積極的に受験させる。 ② 進路資料室等を活用し、生徒の自学自習を支援する。	進路	A	
	学年部との連携強化	① 系統的な進路シHRを構築する。 ② 生徒ひとりひとりの進路希望を把握し、3年生にそれぞれ担任と連携して進路検討会を実施する。 ③ 必要に応じて進路部学年担当が担任会に出席し、連絡・調整を図る。 ④ 学年部と協力し、学習合宿や土曜活用を実りあるものとする。	進路	B	
4 生徒指導	生徒会活動の充実	生徒会本部・各種委員会を充実させ、新校舎における学園祭スタイルを確立させる。	生徒指導	A	B 前期・後期と特年度に後期は1年生がが中心となり文化祭・グラウンドを一定作り出すことについて進めるが5生徒の髪指導に力を入れているが、かなり改善された。2、3年女子の制服指導に課題を残した。 1年生の加入率が久しぶりに70%を越えて、部活動の中には1年生が主力となった部も生じた。 喫煙の痕跡が激減した。盗難・器物破損については1年生を中心に気になるケースが散発し、年間を通して巡回等で対応した。 雨天時のカッパも一定の定着を見ることが必要である。 ① 各学年のテーマにしたがって、適切な題材で人権学習を実施すること ② 学年部と連携して、人権教育を推進する
	基本的な生活習慣の確立	『茶髪では学校に、はいれません』2年目として、過去あるいは昨年築き上げてきた指導方針を堅持しつつ、更により状況を作り出すよう努力する。遅刻問題や正しい制服着用などの学校生活のあらゆるところに働きかける。	生徒指導	B	
	部活動の活性化	部活動への加入を促し加入率を上昇させるとともに、活動をさらに活発化させ、「新学科」のスタートに向けてサポートしていく。	生徒指導	B	
	問題行動の未然防止	盗難・器物破損・喫煙等を未然に防ぐために校舎内外の教室・施設の点検を適宜行い、登校時から放課までの間、全教員で巡回体制を組む。	生徒指導	B	
	安全指導	交通安全指導を実施し、雨天時の合羽着用など自転車運転マナーの意識の高揚を図ると共に、道路交通法遵守させる。また、PTAや警察とも連携して取り組む。	生徒指導	B	
	人権教育	① 3年間を見通した系統的な人権学習を推進する。 ② 担当部と学年部の連携を強化し、より充実した人権教育を推進する。	総務企画	B	

評価領域	重点目標	具体的方策	分掌	評価	成果と課題	
5 健康安全	健康に関する知識・意識の高揚	①各種健康診断のきめ細かい実施 ②性・エイズ・喫煙防止教育講演会の実施 ③心理的課題を持つ生徒の指導、報告会の運営 ④保健委員会による文化祭展示、保健だより発行指導 ⑤生徒実態アンケートの実施	保健	B	B	身体計測、各種検診、各種講演会等計画に沿ってきめ細かく実施できた。スクリーンセリングの活用により、心理的な問題を抱えた生徒に適切な対応ができた。
	学習環境の美化整備	①日常の清掃・定期的掃除・外庭大掃除の徹底の指導 ②美化委員会による大校内壇等の運営 ③照度・水質・空気検査等の計画実施	保健	A		新校舎の美しさを維持するよう努めてきた。
6 図書館経営	図書館の円滑な運営と図書館教育、視聴覚教育の充実	①教育活動を支える生徒の教養の育成を促す資料の充実を図り、図書館を円滑に運用する。 ②団体鑑賞行事を実施する。 ③視聴覚教材、機器の充実を図る。 ④書籍管理、貸出業務にコンピュータを導入する検討をする。	図書	B	B	①移転や校時変更に伴い利用規程を改定し、活用しやすいようにした。②難しい演劇であったが静かに鑑賞できた。③④予算化が必要である。
	図書委員会の充実	図書委員会の指導と、委員会行事の充実を図る。	図書	B		S H R の朝への移行、7 限週 2 回など困難な条件下で、活発に行事に取り組んだ。
7 地域連携	学校情報の発信	①学校だよりを毎月 1 回以上発行し、本校の様子を知らせる。 ②ホームページの更新をタイムリーに行う。	総務企画	A		毎月 1 回学校だよりを発行し、情報発信を行うことが出来た。また、HP を有効に活用することが出来た。
	ボランティア活動の実施	高校生自身が地域社会に貢献し、地域社会の一員としての自覚と自負を育てるために、ボランティア活動を実践し、積極的に参加するよう進め、その定着を図る。	生徒指導	C	B	安全安心ステーション及び長岡京市のサポーター事業に登録をしたが、積極的な活動までには至らなかった。
	開放型地域スポーツクラブ創設に向けた取組の推進	地域のスポーツクラブ等との連携を図りスポーツを通じて「地域の学校づくり」を推進する。	保健体育科	C		運動部を中心に地域中学との連携を積極的に行えた。来年度は「乙訓クラブ」として全体的な取り組みとする。
8 新学科設置	スポーツ健康科学科（仮称）の新設に向けた取組の推進	府内各中学校、地域に向けての「スポーツ健康科学科（仮称）」の広報活動を積極的に展開するとともに、充実した教育実践を行うため、高大連携・接続の充実を図る。	新学科推進	B	B	新学科説明会、中学校・塾訪問等により広報活動は一定の成果を得た。よりよい教育活動を実践するための高大連携・接続の内容を高める。
9 校務事務	生徒の福利厚生	①修学支援の適切な運用 ②諸費収納事務の円滑な運営 ③諸証明等発行事務の適正な執行	事務	B		①授業料の納入状況から、支援制度利用を働きかけた。②円滑な事務運営できた。徴収する項目の整理③窓口で、より丁寧な対応が求められる。
	財産、施設・設備、物品管理	①新校舎・施設等の状況を把握し快適な学習環境の維持 ②仮設校舎撤去、グラウンド整備等施工の安全保持 ③新学科の施設・設備整備に係る、関係機関との連携	事務	B	B	①学校全体の連携学習環境の維持ができた。②工事は、安全が確保でき、工期内に完成された。③現状を踏まえ、関係機関との連携強化が求められる。
	個人情報保護	①セキュリティを考慮しつつ、利用しやすい教職員ネットワーク環境をより一層充実させる。 ②職員室、準備室における管理区域（生徒・部外者立入禁止区域）を設定し、個人情報流出の危険性を排除する。	総務企画	B		セキュリティに問題があり、よりセキュリティの高いネットワークを構築できるように取り組んだ。
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長を中心とした学校目標達成に向け「学校改革」「スポーツ健康科学科」の取組を更に推進する。</li> <li>・高大連携事業と基礎学力充実（国語・数学・英語）の取組み、きめ細やかな指導や ICT 活用による授業改善に努め、学力向上と進路希望の実現を推進する。</li> </ul>					

A：達成できている。 B：ほぼ達成できている。 C：あまり達成できていない。 D：ほとんど達成できていない。